

経営比較分析表（平成29年度決算）

埼玉県 毛呂山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	81.01	99.74	2,127	

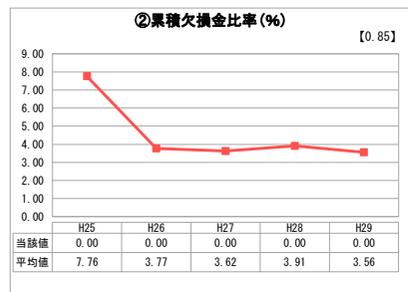
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
34,207	34.07	1,004.02
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
33,884	24.20	1,400.17

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】平成29年度全国平均

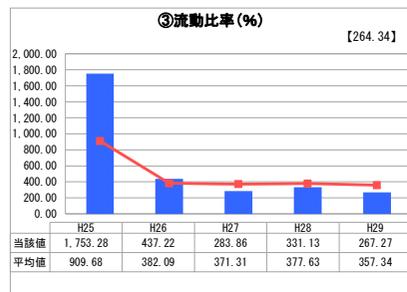
1. 経営の健全性・効率性



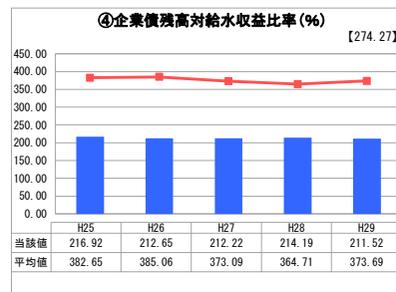
「経常損益」



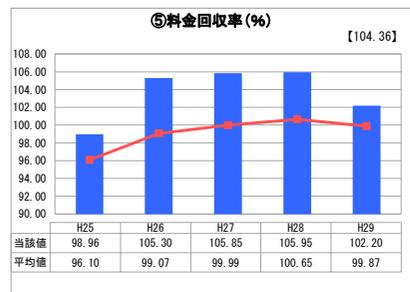
「累積欠損」



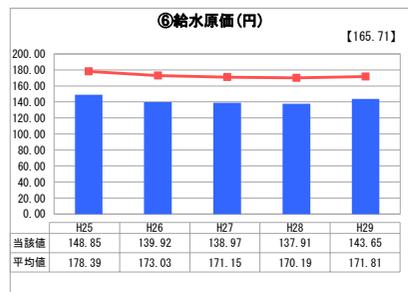
「支払能力」



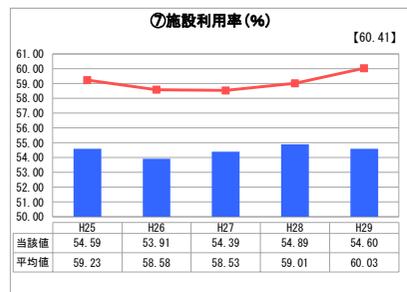
「債務残高」



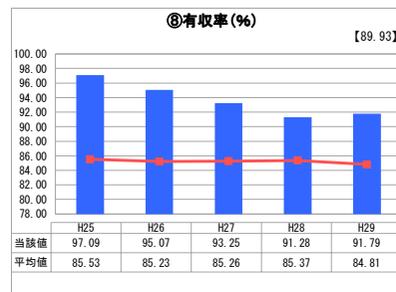
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

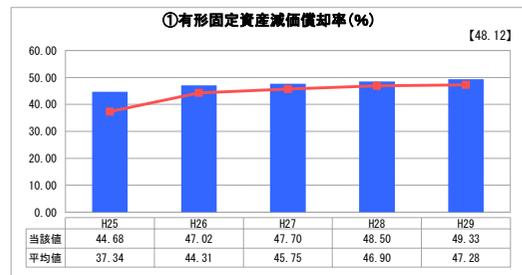


「施設の効率性」

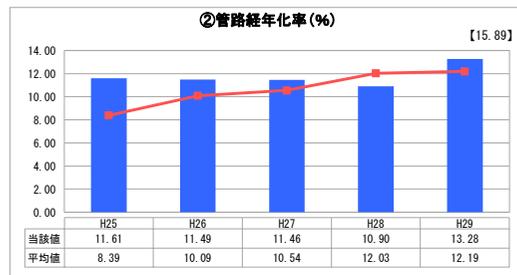


「供給した配水量の効率性」

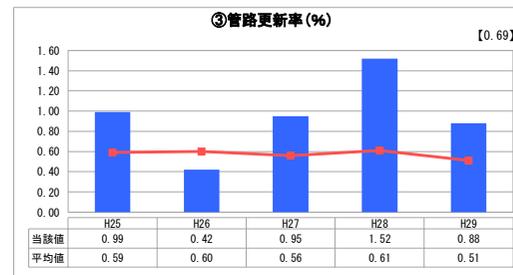
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
100%を上回っており単年度では黒字であるが、年々下降していることから経営が厳しいことを示している。
- ②流動比率
100%を上回っており、短期的な債務に対する支払能力は確保されている。
- ③企業債残高対給水収益比率
類似団体平均値を大きく下回っており、一定水準を保っている。これは、企業債については、毎年の償還額を考慮して借入を行っているためである。
- ④料金回収率
100%を上回っており、給水に係る費用は、給水収益で賄われている。
- ⑤給水原価
有収水量1m³あたりにかかる費用を示すもので、類似団体平均値、全国平均を下回り低水準であるが今後も経営の効率化等で低水準を維持できるように努力する。
- ⑥施設利用率
一日配水能力に対する一日平均配水量の割合を示すもので、類似団体平均値を大きく下回っており、施設規模に対して効率的に利用できていない状態である。施設のあり方を検討する必要がある。
- ⑦有収率
類似団体平均値を上回っているが、全町的な漏水調査を実施し有収率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
数値が高いほど法定耐用年数に近い資産が多いことを示している。類似団体平均値と同水準で推移しているが、高い水準となっているため施設や管路の老朽化が進んでいる状態である。
- ②管路経年化率
法定耐用年数を超えた管路延長の割合を示しており、類似団体平均値を上回っている。アセットマネジメントを実施したため、計画的な更新計画に沿って老朽管更新を行う予定である。
- ③管路更新率
年度によってばらつきがみられる。類似団体平均値を上回っているが、管路更新が進んでいない状態である。

全体総括

人口減少等により給水収益が年々減少している状況で、健全な経営を継続していくためには平成29年度に策定した経営戦略を中心として、計画的に施設の更新事業を実施し、その財源確保を努めることが重要である。
特に管路では石綿セメント管が多く残っているため、早急に更新事業を進める必要がある。この財源確保には、水道料金の改定や施設のダウンサイジング等を検討・実施していく必要がある。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。